

1. はじめに

1.1 研究の背景

(1) 第4回高知県建築文化賞事務局の一員として関与
事務局の一員として関与し、次第に「高知県建築文化賞」
に対するの興味が高まった。そして、審査基準が「地域性」
に重点が置かれていることを知り、建築における「地域性」
をどのように評価すれば良いのか疑問に思った。

(2) 建築潮流と「地域性」の関係

建築思潮としては、モダニズム建築からポストモダニズム
建築の大きな流れがある。モダニズム建築に否を唱えて
ポストモダニズム建築は生まれた。「地域性」は、この流れ
の中で表出してきた。

(3) 既往研究から得た評価基準の必要性

既往研究での建築における「地域性」について「風土」
や「気候」、「素材」など、条件に関しては様々な設定がさ
れている。しかし、明確な評価基準は見当たらない。そこ
で、評価基準を確立する必要がある。

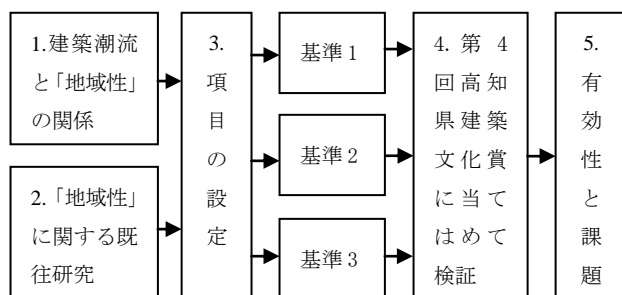
1.2 研究の目的

本研究は、建築における「地域性」評価を基準として
提示することを目的とする。ただし、地域性はそれぞれの
地域に依拠するため、ここでは、2015年度第4回高知県建
築文化賞応募作品を事例に、高知県における「地域性」に
ついてのみの検証を行う。

1.3 研究の構成

研究の構成は、建築潮流や既往研究を基に、高知県にお
ける建築の「地域性」の評価項目の設定をし、3つの基準
を用いて第4回高知県建築文化賞応募作品の事例にあては
め、基準の有効性と、その課題を提示する。

図1. 研究の構成



2. 地域性評価の項目設定

地域性評価項目は、建物を大きく「外部条件」と「内部
条件」に2区分し、更に小条件（屋根、外壁仕上げ、床、
開口部等）、項目（形式、勾配、材料、方法等）、種類（切
妻形式である、漆喰が使われている、障子・襖が使用さ
れている等）の順で細かく分類して、評価表を作成した。
評価点の付け方としては、表1の3つの基準を用いた。

表1. 評価の基準項目

基準1	・メインで使用されている方法の合計点で順位付け ・他に使用されているものがあってもその評価がされることはない ・結果として評価が曖昧になる
基準2	・使用されている全方法の合計点で順位付け ・「合計」をそのまま評価に繋げると、使用数の多いものが上位になり妥当性が低くなる
基準3	・手法2の合計点を用いた総合評価で順位付け ・「総合評価」は合計点の最高が100点となる ・使用数だけで判断することがなくなる

3. 高知県建築文化賞応募作品の検証結果と課題

(1) 検証結果

「吉村虎太郎生家」は基準1では70点で2位、基準2では70点
で5位に、基準3では83点で1位となっており、どの基準で
評価しても上位である。地域性という視点からは「吉村虎
太郎生家」が1位になるのは妥当である。

「牧野富太郎ふるさと館」も同様に、「地域性」の視点
での評価は高い。

「豊永郷民俗資料館」は基準1では63点で5位、基準2
では73点で3位に、基準3では65点で5位である。しか
し、文化賞では高知県知事賞と木造文化賞を受賞している
ことから、「地域性」の視点だけでなく、その他の選考の
視点からも評価されたことが分かる。

「継ぎの家」はどの基準においても上位であり、土佐派
の家の住宅として「地域性」評価の高さがある。

「中土佐町第1号・第2号津波避難タワー」は今回作成
した評価表の結果では、全17位である。しかし優秀賞と県
民審査賞を受賞していることから建築作品としての総合
的な評価は高い。

基準1と基準3は順位にそれほど大きな差はない。しか
し1つの項目だけから評価する基準1、全方法の合計点を
足し合わせて評価する基準2、総合評価を用いて評価する
基準3の3つの基準の内、地域性を評価する上では、総合
で評価する基準3が妥当である。

(2) 課題

建築における「地域性」の評価方法としては、基準3を
用いた評価表の有効性が検証された。

しかし、建築作品の評価は、新たな建築の可能性を示唆
するもの、(2)地球環境保全に対する配慮及び建築物のラ
イフサイクルに対する取り組み等を加味しての評価であり、
「地域性」評価が高いだけでは建築作品としての総合
的な評価には繋がらないことが改めて分析された。評価
項目の見直しや、「地域性」を評価する際には、その地
域に適した評価表を作成することが今後の課題である。

図 2. 基準 1 による結果

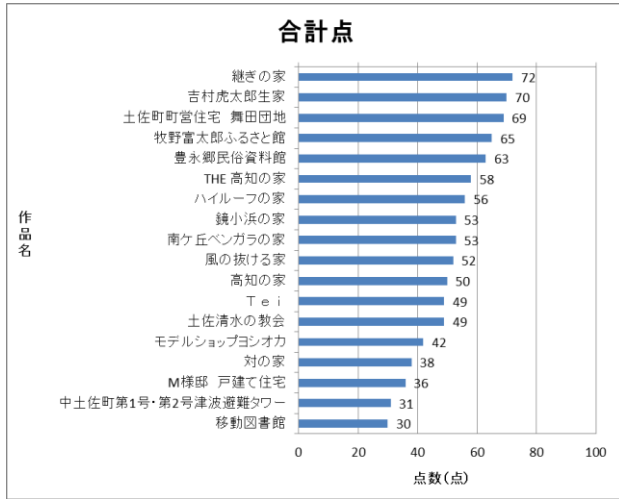


表 2. 基準 1 における順位と受賞名一覧

順位	作品名	建築文化賞受賞名
1	つぎの家	新人賞
2	吉村虎太郎生家	
3	土佐町町営住宅 舞田団地	土佐薫賞
4	牧野富太郎ふるさと館	
5	豊永郷民俗資料館	高知県知事賞・木造文化賞
6	THE 高知の家	
7	ハイルーフの家	優秀賞
8	鏡小浜の家	
9	南ヶ丘ベンガラの家	
10	風の抜ける家	
11	高知の家	
12	T e i	新人賞
13	土佐清水の教会	優秀賞
14	モデルショップヨシオカ	
15	対の家	新人賞
16	M様邸 戸建て住宅	
17	中土佐町第1号・第2号津波避難タワー	優秀賞・県民審査賞
18	移動図書館	

図 3. 基準 2 による結果

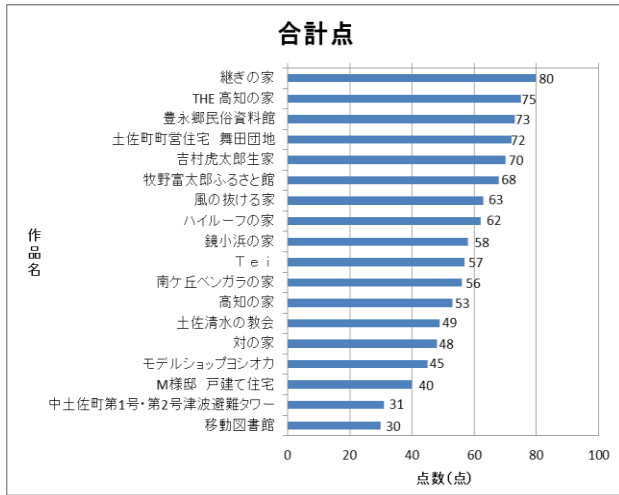


表 3. 基準 2 における順位と受賞名一覧

順位	建物名	建築文化賞受賞名
1	つぎの家	新人賞
2	THE 高知の家	
3	豊永郷民俗資料館	高知県知事賞・木造文化賞
4	土佐町町営住宅 舞田団地	土佐薫賞
5	吉村虎太郎生家	
6	牧野富太郎ふるさと館	
7	風の抜ける家	
8	ハイルーフの家	優秀賞
9	鏡小浜の家	
10	T e i	新人賞
11	南ヶ丘ベンガラの家	
12	高知の家	
13	土佐清水の教会	優秀賞
14	対の家	新人賞
15	モデルショップヨシオカ	
16	M様邸 戸建て住宅	
17	中土佐町第1号・第2号津波避難タワー	優秀賞・県民審査賞
18	移動図書館	

図 4. 基準 3 による結果

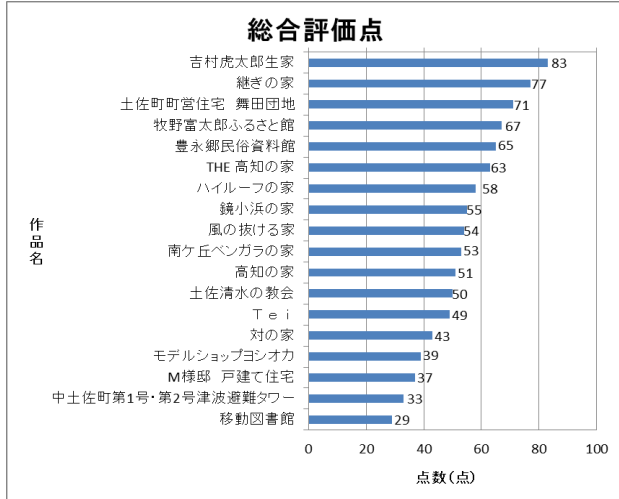


表 4. 基準 3 における順位と受賞名一覧

順位	作品名	建築文化賞受賞名
1	吉村虎太郎生家	
2	つぎの家	新人賞
3	土佐町町営住宅 舞田団地	土佐薫賞
4	牧野富太郎ふるさと館	
5	豊永郷民俗資料館	高知県知事賞・木造文化賞
6	THE 高知の家	
7	ハイルーフの家	優秀賞
8	鏡小浜の家	
9	風の抜ける家	
10	南ヶ丘ベンガラの家	
11	高知の家	
12	土佐清水の教会	優秀賞
13	T e i	新人賞
14	対の家	新人賞
15	モデルショップヨシオカ	
16	M様邸 戸建て住宅	
17	中土佐町第1号・第2号津波避難タワー	優秀賞・県民審査賞
18	移動図書館	

《参考引用文献》

1. ヴォトリオ・M・ラムフニャーニ,1985.11,現代建築の潮流,川向正人(訳),鹿島出版社
2. 社団法人高知県建築士会・財団法人建築技術教育普及センター,1994.05,地域建築設計資料集成,社団法人高知県建築士会

3. 山本長水・土佐派の家委員会,2008.06,土佐派の家PARTIII,「土佐派の家」出版委員会
4. 日本建築学会,2004.07,地域環境デザインと継承 シリーズ地球環境建築・専門編1,彰国社